

# 2020年3月期 決算説明会

株式会社プロトコーポレーション  
2020年5月14日（WEB決算説明会:2020年5月20日）



# 2020年3月期 ハイライト

## ■業績ハイライト（2020年3月期）

ROE	16.7 %	－前年同期比	+5.0 point
売上高	59,127 百万円	－前年同期比	▲5.0%
売上総利益	24,406 百万円	－前年同期比	+2.4%
EBITDA	6,455 百万円	－前年同期比	+9.0%
営業利益	5,136 百万円	－前年同期比	+12.5%
経常利益	5,354 百万円	－前年同期比	+7.0%
当期純利益	4,991 百万円	－前年同期比	+58.0%

## ■トピックス

- ・売上高：減収（主に物品販売の減収によるもの  
「キングスオートの減収、バイクプロスの不採算事業撤退、オートウェイの減収」）
- ・売上総利益・営業利益：増益（中古車・新車・整備領域の収益性改善が進む）
- ・当期純利益：増益（上記に加え、東京本社移転等に伴う固定資産売却益約18億円を計上）
- ・新型コロナウイルス（COVID-19）による2020年3月期業績への影響は限定的
- ・株式会社オートウェイについては、2020年2月より営業正常化  
2020年3月期の商品保証引当金繰入額は35百万円（ホイールの返金・交換関連）
- ・2020年1月 株式会社ナノコネクと資本提携（AI領域の強化）

# 2020年3月期 連結業績（1）

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
売上高	62,251	100.0%	62,431	100.0%	59,127	100.0%
売上総利益	23,832	38.3%	24,689	39.5%	24,406	41.3%
EBITDA	5,920	9.5%	6,255	10.0%	6,455	10.9%
営業利益	4,565	7.3%	4,916	7.9%	5,136	8.7%
経常利益	5,004	8.0%	4,942	7.9%	5,354	9.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,159	5.1%	4,512	7.2%	4,991	8.4%
1株当たり当期純利益（円）	78.75	-	112.41	-	124.33	-

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲3,123	▲5.0%	▲3,303	▲5.3%
574	+2.4%	▲282	▲1.1%
535	+9.0%	199	+3.2%
571	+12.5%	220	+4.5%
349	+7.0%	412	+8.3%
1,831	+58.0%	478	+10.6%
45.58	+57.9%	11.92	+10.6%

※2020年3月期の計画値は、2019年7月31日公表の計画値であります。（以下同様）

※EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

※1株当たり当期純利益については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	19,267	31.0%	19,773	31.7%	19,270	32.6%
人件費	7,871	12.6%	8,176	13.1%	7,721	13.1%
広告宣伝費	4,486	7.2%	4,660	7.5%	4,602	7.8%
その他	6,909	11.1%	6,935	11.1%	6,945	11.7%

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
2	+0.0%	▲502	▲2.5%
▲150	▲1.9%	▲455	▲5.6%
116	+2.6%	▲57	▲1.2%
36	+0.5%	9	+0.1%

## 売上高

主に、キングスオートの中古車輸出売上（物品販売）の減収、バイクプロスの事業撤退（物品販売・広告関連）、オートウェイのタイヤ・ホイール売上（物品販売）の減収による影響により減収となった

## 営業利益

主に、プロトコーポレーションの情報・サービス、プロトリオスが堅調に推移したことにより増益となった。

## 当期純利益

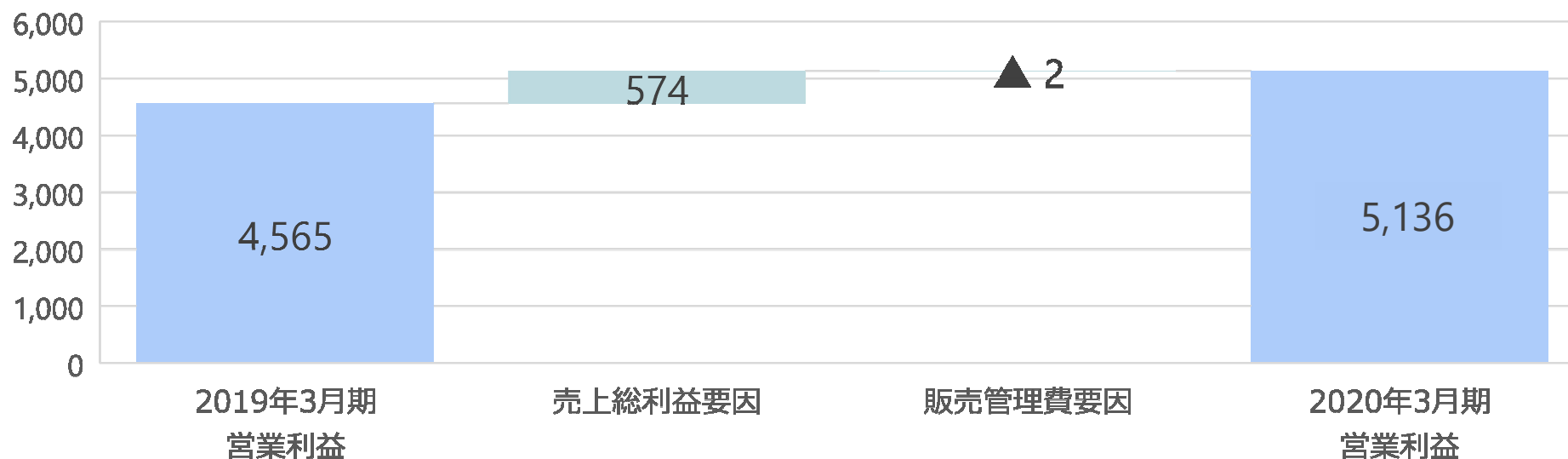
上記に加え、東京本社移転等に伴う固定資産売却益を計上したことなどにより、増益となった

# 2020年3月期 連結業績（2）

## ■ 営業利益増減分析

（単位：百万円）

売上総利益要因	+574	販売管理費要因	▲2	営業利益増減	+571
プロトコーポレーション	+656	プロトコーポレーション	▲401	プロトコーポレーション	+255
プロトリオス	+300	プロトリオス	▲42	プロトリオス	+258
オートウェイ	▲242	オートウェイ	▲60	オートウェイ	▲303
タイヤワールド館ベスト	+191	タイヤワールド館ベスト	+13	タイヤワールド館ベスト	+205
キングスオート	▲64	キングスオート	+2	キングスオート	▲61
バイクプロス	▲402	バイクプロス	+498	バイクプロス	+95
		のれん償却額	+8	のれん償却額	+8
<p>主にプロトコーポレーション、プロトリオス、タイヤワールド館ベストの増収・収益性改善が増益に寄与。一方、オートウェイについては、タイヤ販売が低迷したことから減益</p>		<p>主にバイクプロスの事業撤退による販売管理費減少が寄与</p>		<p>主にプロトコーポレーション、プロトリオス、タイヤワールド館ベストの増収、収益性改善が増益に寄与</p>	



# 2020年3月期 連結業績：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績(a)	構成比	計画(b)	構成比	実績(c)	構成比
自動車関連情報	56,167	90.2%	56,293	90.2%	52,870	89.4%
広告関連	21,278	34.2%	21,639	34.7%	21,485	36.3%
情報・サービス	5,041	8.1%	5,074	8.1%	5,557	9.4%
物品販売	29,847	47.9%	29,579	47.4%	25,827	43.7%
生活関連情報	4,335	7.0%	4,331	6.9%	4,168	7.0%
不動産	195	0.3%	137	0.2%	160	0.3%
その他	1,553	2.5%	1,668	2.7%	1,928	3.3%
合計	62,251	100.0%	62,431	100.0%	59,127	100.0%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲3,297	▲5.9%	▲3,423	▲6.1%
206	+1.0%	▲154	▲0.7%
515	+10.2%	482	+9.5%
▲4,019	▲13.5%	▲3,751	▲12.7%
▲166	▲3.8%	▲162	▲3.8%
▲34	▲17.7%	22	+16.7%
375	+24.2%	259	+15.6%
▲3,123	▲5.0%	▲3,303	▲5.3%

営業利益 (単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績(a)	利益率	計画(b)	利益率	実績(c)	利益率
自動車関連情報	5,758	10.3%	6,524	11.6%	6,582	12.5%
生活関連情報	249	5.8%	138	3.2%	169	4.1%
不動産	193	99.0%	34	24.9%	135	84.2%
その他	57	3.7%	36	2.2%	58	3.1%
管理部門	▲1,693	-	▲1,817	-	▲1,809	-
合計	4,565	7.3%	4,916	7.9%	5,136	8.7%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
823	+14.3%	58	+0.9%
▲80	▲32.2%	30	+22.3%
▲57	▲30.0%	100	+294.3%
1	+2.9%	22	+62.9%
▲115	-	8	-
571	+12.5%	220	+4.5%

## 自動車関連情報

減収増益：主に物品販売の減収による影響。DataLine SalesGuide及びプロトリオス等の増収効果により増益

## 広告関連

主な増収要因は、MOTORGATE、グーピットが堅調に推移したため。

## 情報・サービス

主な増収要因は、DataLine SalesGuide及びプロトリオスのソフトウェア販売が堅調に推移したため。

## 物品販売

主な減収要因は、キングスオートの中古車輸出の減少と、バイクブロス（EC事業）の事業撤退、オートウェイのタイヤ・ホイール販売の減少。

## 生活関連情報

減収減益：主にリユース事業の事業譲渡（2019年2月）による影響。

# 2020年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2019年3月期 期末		2020年3月期 期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	27,088	61.7%	28,231	63.1%	1,142	104.2%
固定資産	16,791	38.3%	16,494	36.9%	▲296	98.2%
流動負債	14,035	32.0%	11,268	25.2%	▲2,766	80.3%
固定負債	1,814	4.1%	1,524	3.4%	▲290	84.0%
純資産	28,029	63.9%	31,932	71.4%	3,903	113.9%
総資産	43,879	100.0%	44,726	100.0%	846	101.9%

(単位：百万円)	2019年3月期 期末		2020年3月期 期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	15,747	35.9%	18,057	40.4%	2,309	114.7%
有利子負債	6,800	15.5%	3,469	7.8%	▲3,330	51.0%
ネットキャッシュ	8,947	20.4%	14,587	32.6%	5,640	163.0%

**流動資産** 主な増加要因は、東京本社等の固定資産売却等に伴い、現金及び預金が2,309百万円増加したため

**固定資産** 主な減少要因は、東京本社等の固定資産売却に伴う有形固定資産の減少によるもの

**流動負債** 主な減少要因は、短期借入金（一年内返済長期借入金含む）が2,941百万円減少したため

**固定負債** 主な減少要因は、長期借入金が388百万円減少したため

# 2020年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,807	6,014	2,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,352	401	1,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,846	▲4,459	▲1,613
現金及び現金同等物の期末残高	15,356	17,336	1,980

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	1,728	2,025	297
減価償却費	916	890	▲26
のれん償却額	437	429	▲8

## 営業活動による キャッシュ・フロー

主に税金等調整前当期純利益7,139百万円、支出を伴わない減価償却費、のれん償却額の合計が1,319百万円発生したことなどから、6,014百万円の収入となった。

## 投資活動による キャッシュ・フロー

主に東京本社等の有形固定資産の売却による収入が3,588百万円発生したことなどから、401百万円の収入となった。

## 財務活動による キャッシュ・フロー

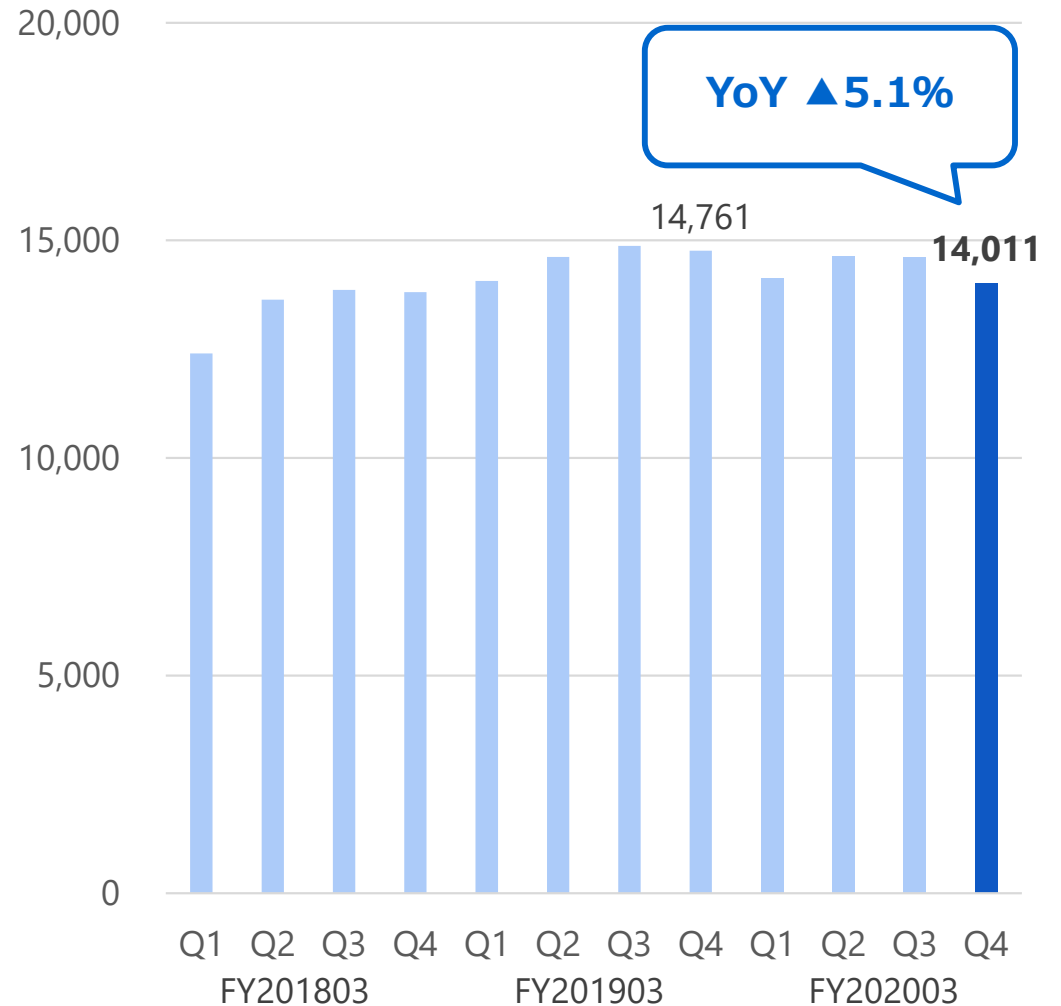
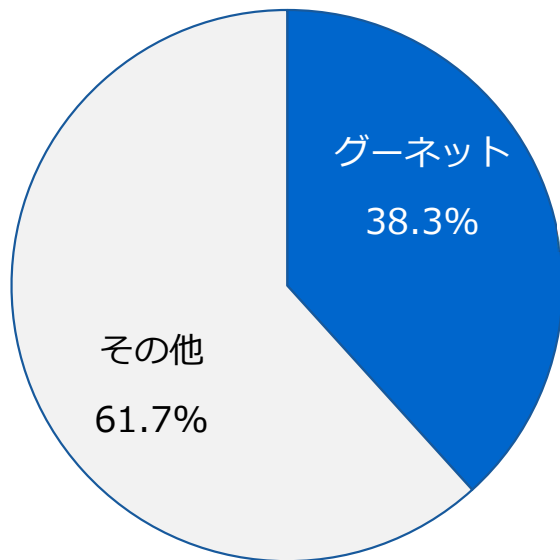
主に借入金の返済が3,330百万円、配当金の支払が1,053百万円発生したことなどから、4,459百万円の支出となった。

# 中古車領域（グーネット「MOTOR GATE」取引社数）

## グーネット（MOTOR GATE）取引社数

(単位：社)

対象マーケット数  
(36,600社)  
当社調べ

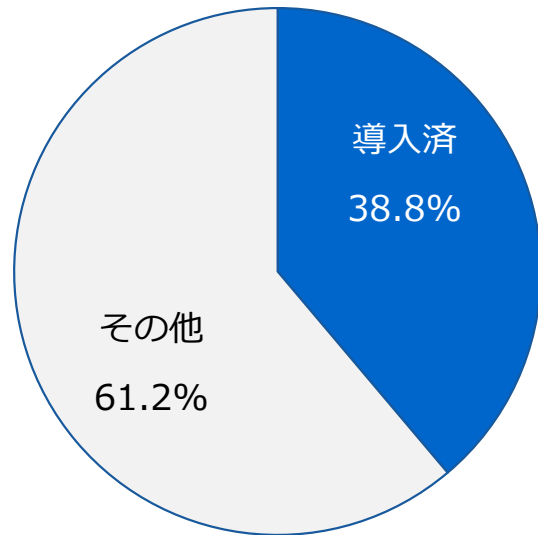


グーネット取引社数は、前年同期対比▲5.1%



# 新車領域 (DataLine SalesGuide導入拠点数)

## DataLine SalesGuide導入拠点数

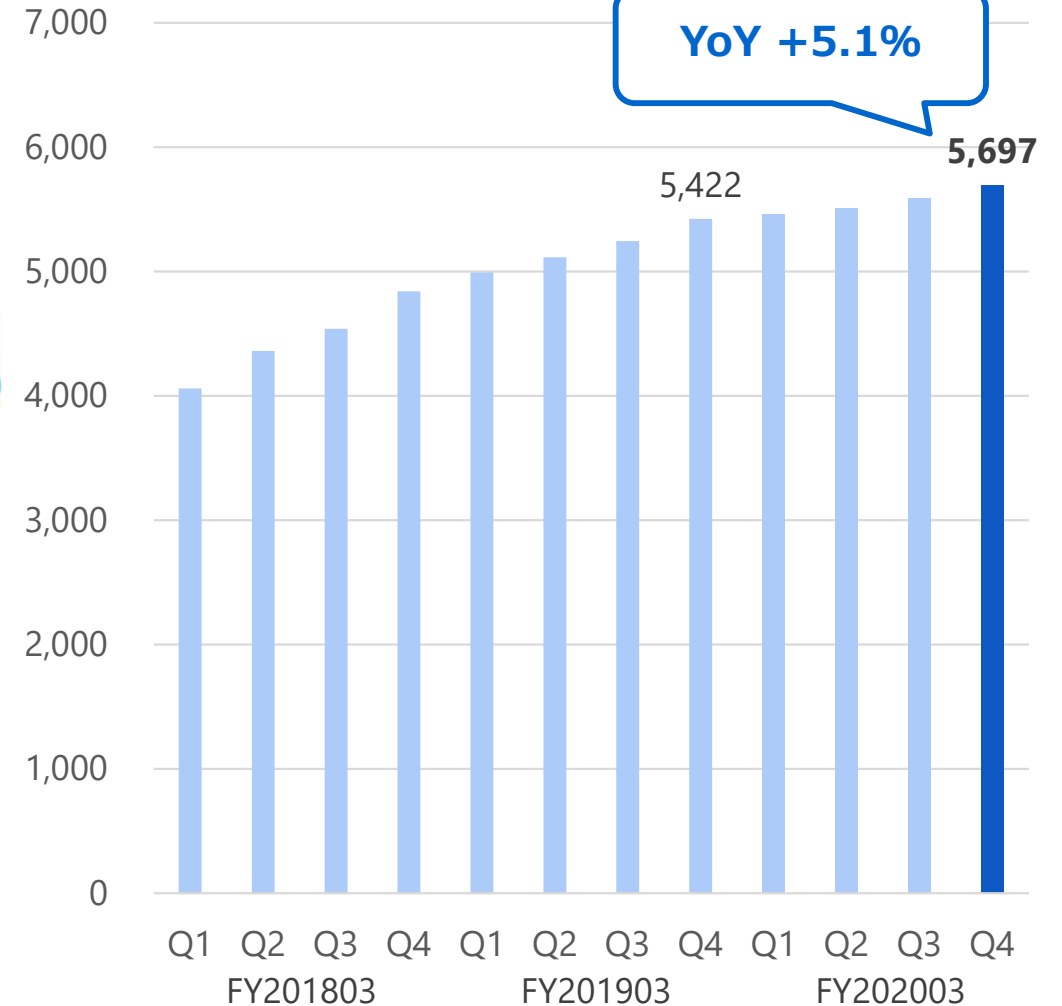


対象マーケット数  
(14,670拠点)

出所  
日本自動車販売協会連合会

DataLine  
SalesGuide

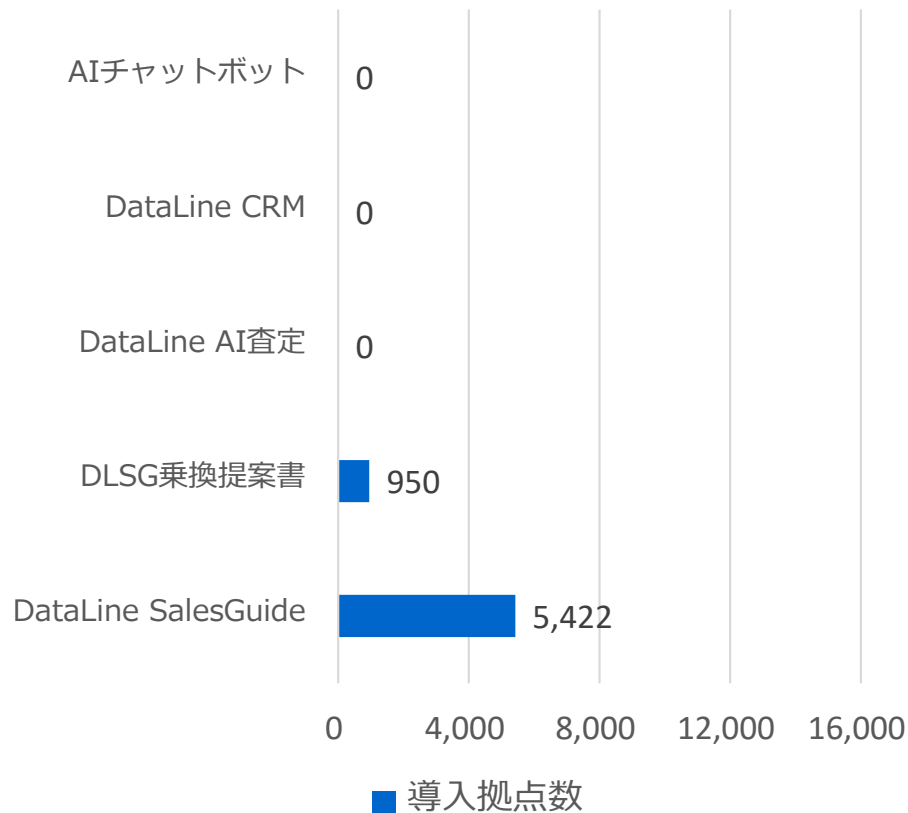
(単位：拠点)



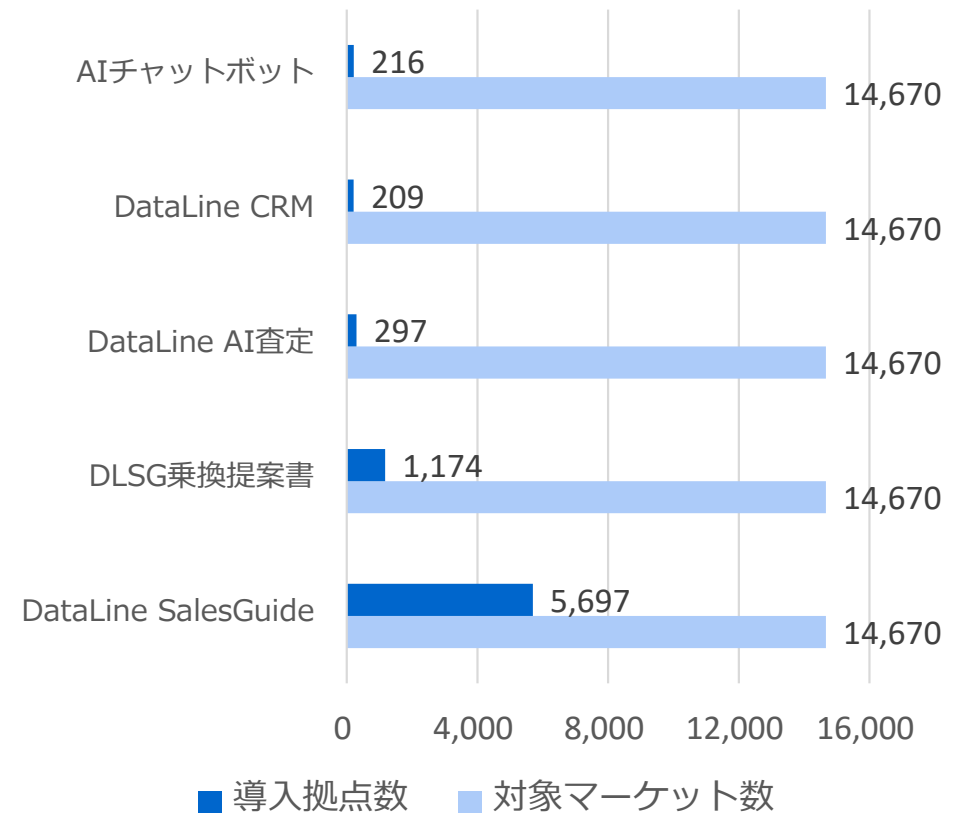
DataLine SalesGuide導入拠点数は、前年同期対比+5.1%

# 新車領域

## 2019年3月(実績)



## 2020年3月(実績)



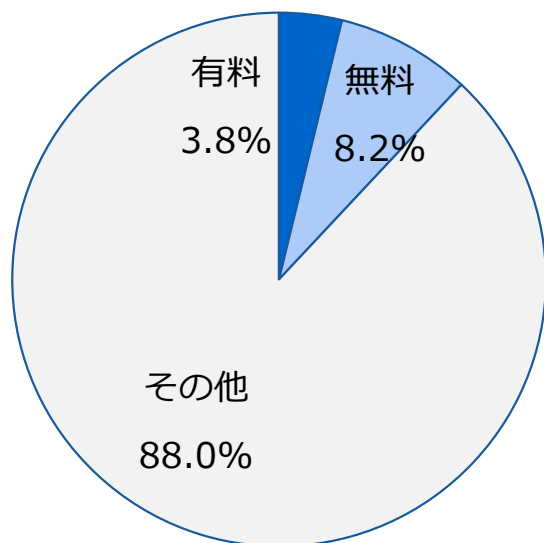
商品・サービスの導入拠点数拡大  
及び顧客単価向上を推進し、新車領域の成長を図る

# 整備領域（グーネットピット有料掲載工場数）

## グーネットピット取引社数

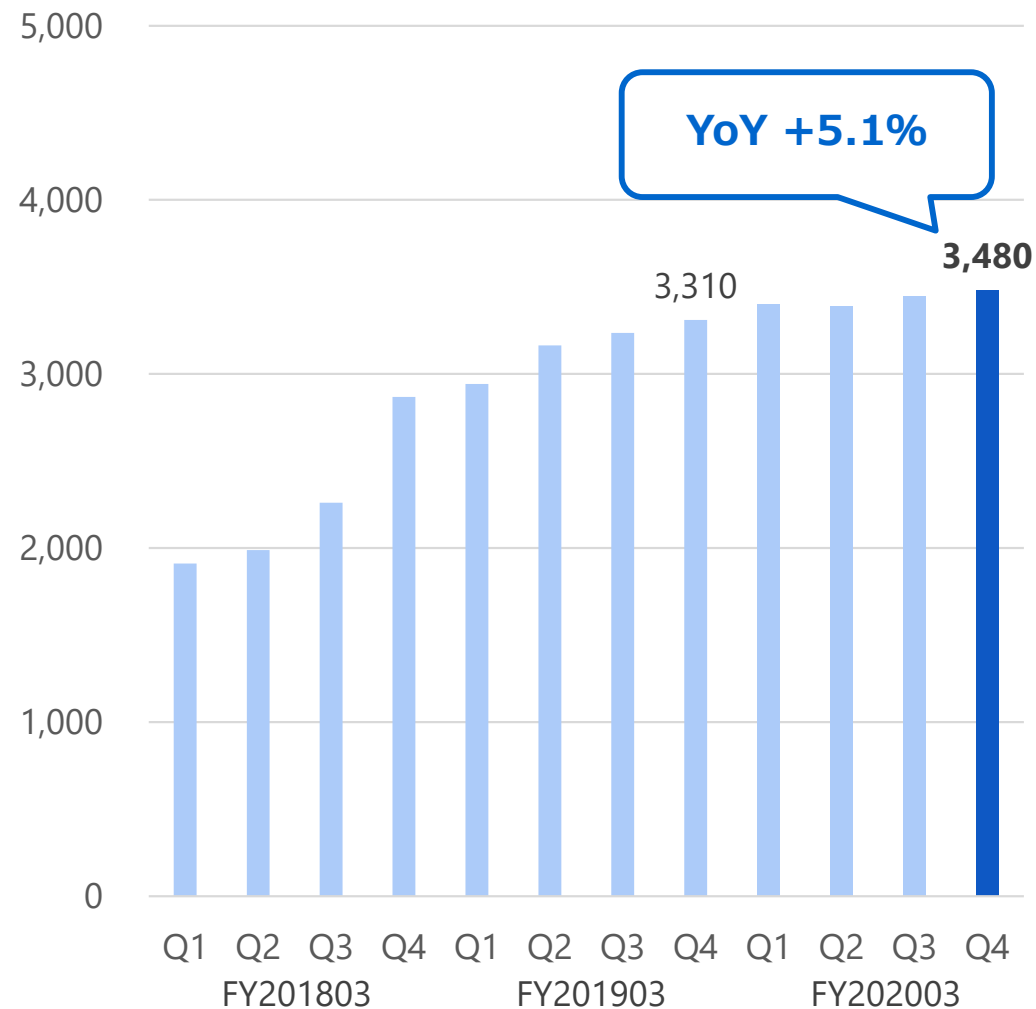
対象マーケット数  
(91,788工場)

出所：国土交通省



**グーネットピット**

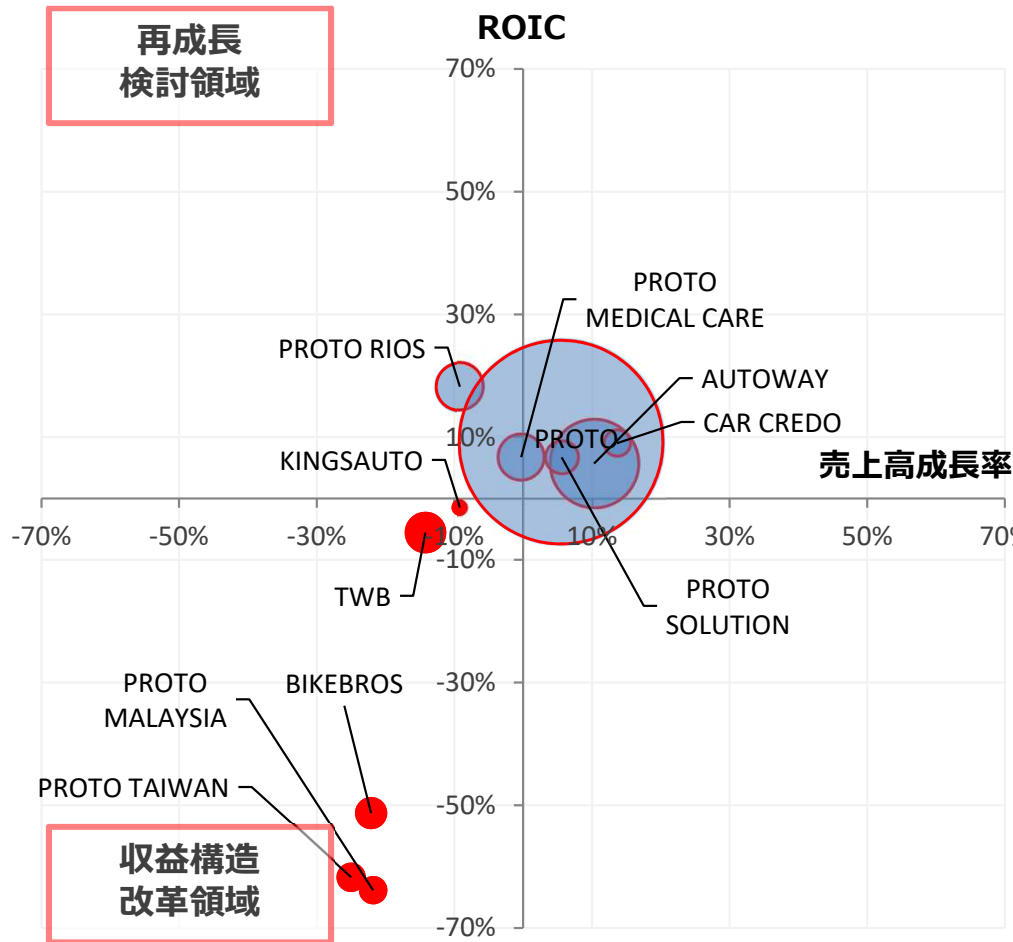
(単位：工場)



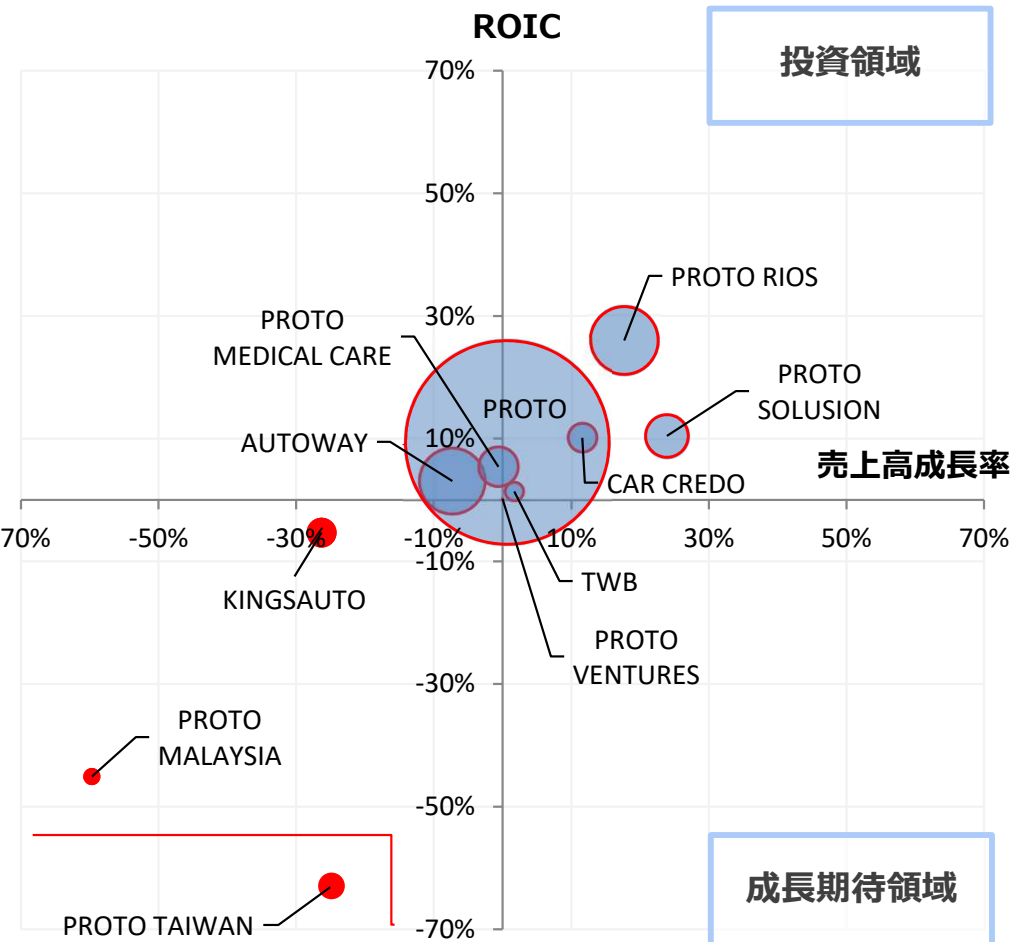
**グーネットピット有料掲載工場数は、前年同期対比+5.1%**

# 事業ポートフォリオの推移

2019年3月期



2020年3月期



ROIC : NOPAT(税引後営業利益)/投下資本 (純資産 + 有利子負債)  
 円の大きさは営業損益のサイズ (青=営業利益、赤=営業損失)  
 営業損益は、のれん償却前営業損益

BIKEBROSは不採算事業撤退の上、PROTOに吸収合併 (2019年4月)  
 PROTO MALAYSIAは清算を決議 (2019年10月)  
 PROTO TAIWANは株式を譲渡 (2020年1月)

事業ポートフォリオの見直しにより、収益性改善が進む

# 新型コロナウイルスの影響と当社の取組み

---

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における当社の対応

## ■ 経緯

- ・ 2月27日 政府は、全国全ての小・中・高校等について、3月2日から春休みまで臨時休業を要請
- ・ 3月11日 世界保健機関が新型コロナウイルスについて世界的な大流行を表明
- ・ 3月25日 東京都は感染爆発の重大局面として週末の外出自粛等を要請
- ・ 4月 7日 東京・大阪等、7都道府県において緊急事態宣言の発令
- ・ 4月16日 緊急事態宣言の対象地域を全都道府県に拡大
- ・ 5月 4日 緊急事態宣言の延長を発表

## ■ 新型コロナウイルス感染症対策（当社グループ社員への対応）

- ・ **2020年2月末より、原則、電話営業・オンライン営業に移行し、営業活動を継続**
  - ・ 海外渡航・出張・大規模会議の原則禁止
  - ・ 小規模会議・対面の打ち合わせ等の原則禁止（代替手段「電話・オンライン」で対応）
  - ・ 営業部門において、顧客先との対面営業活動の原則禁止（代替手段「電話・オンライン」で営業活動を継続）
  - ・ 間接部門において、原則在宅勤務

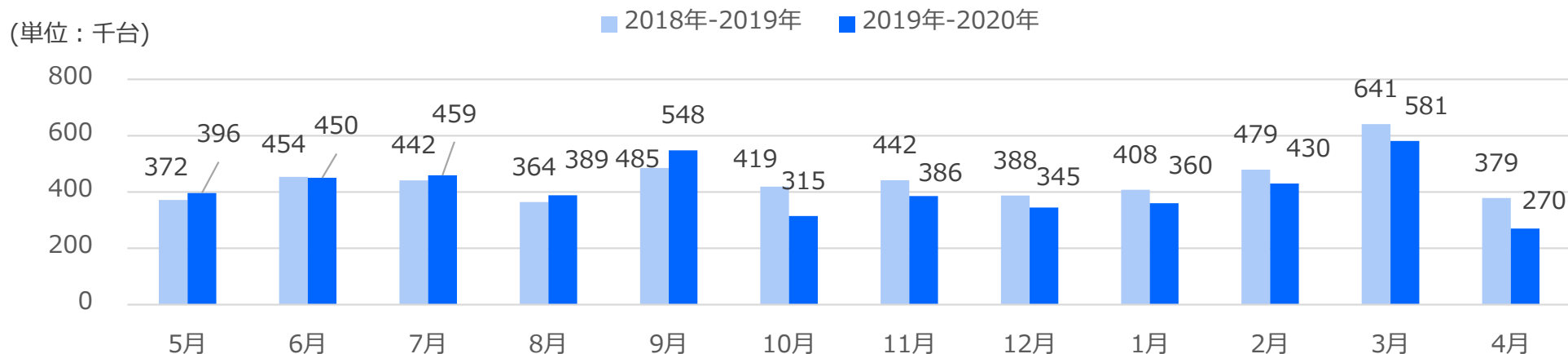
**オンライン営業・在宅勤務を推進し、  
従業員が感染しない環境・取引先に感染させない環境を整備**

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について

## ■ユーザーの動向

- ・外出の自粛
  - ・店舗への来店頻度の減少
  - ・「グーネット」はユニークユーザー数が増加（2020年3月に過去最高を更新）
- ・公共交通機関利用の抑制
  - ・都市部におけるマイカー使用の増加
  - ・低価格帯の中古車の需要が増加
  - ・バイク（自動二輪車）の需要が増加

### 新車販売台数月次推移



新型コロナウイルスによる先行き不透明感から、  
ユーザーの消費意欲の減退が見込まれる

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について

## ■中古車販売店・新車ディーラーの動向

- ・ 2020年4月度の新車販売台数は、前年同月比約3割減少
  - ・ 営業時間の短縮、一部店舗の休業
  - ・ 各種キャンペーン・イベントの中止・延期
  - ・ DM・チラシ等の集客活動を自粛
- ・ 「MOTOR GATE」においては、広告出稿の抑制が発生
- ・ 「グーネット」の掲載台数は過去最高水準（2020年4月末）

## ■中古車オークション会場の動向

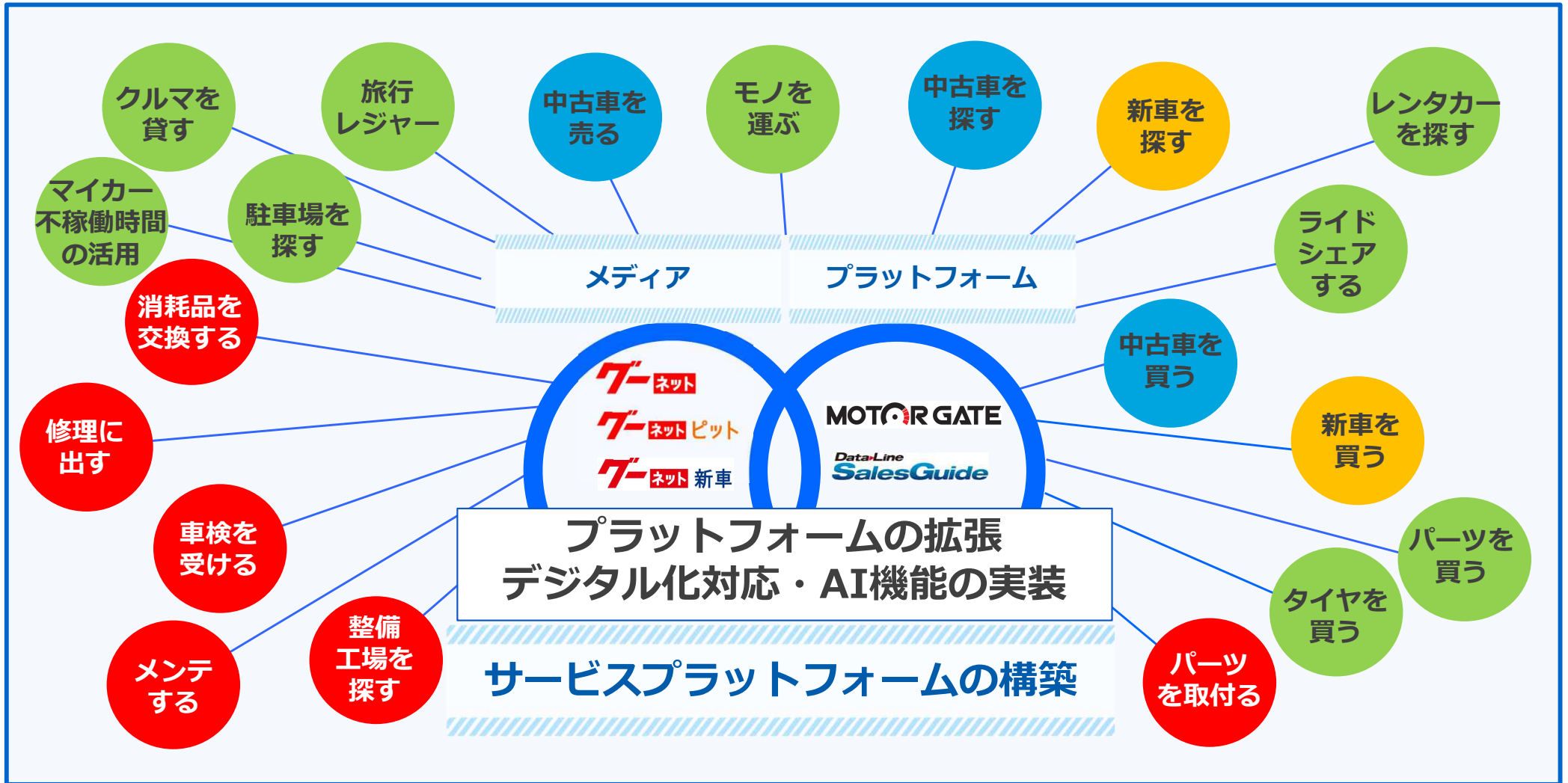
- ・ 1開催当たり出品台数の増加（2020年4月第1週以降）
- ・ 成約単価の下落（2020年3月第4週以降）
- ・ 成約率の大幅な低下（2020年3月第4週以降）

**中古車販売店・新車ディーラーにおいては、広告出稿の抑制が発生  
現時点においては、影響期間・影響額の見通しが困難**



# 中期3ヶ年計画 ビジョン「サービスプラットフォームの構築」

## カーライフのトータルサポートの実現



自動車関連情報サービス事業 国内No.1になる!!  
(メディアからサービスプラットフォームへ)

# 今期における当社の重点項目

1

デジタル化推進：商品（オンライン商品・AI商品の開発）

2

デジタル化推進：営業体制（オンライン・リモート営業）

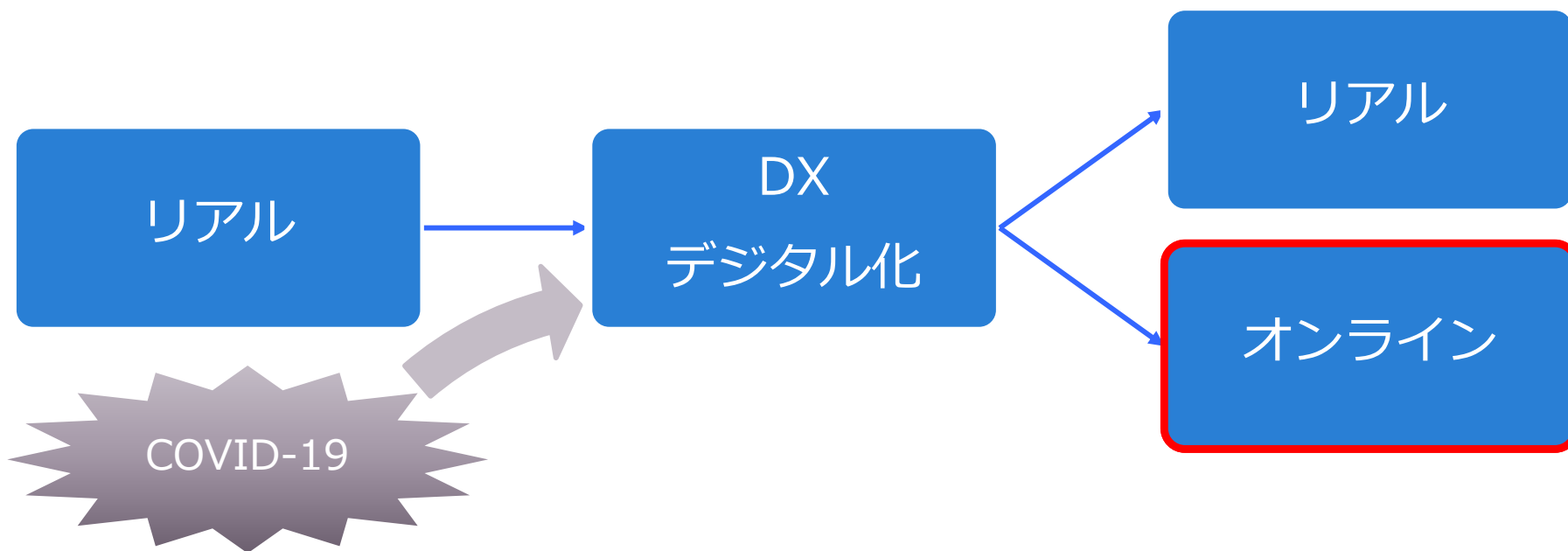
3

十分な手元流動性の確保、コストコントロールの徹底

デジタル化を推進し、既存顧客支援を最優先に対応

# 新車・中古車販売現場における変化

- COVID-19により、ユーザーと顧客間において、時間・距離・場所の制約が発生
- Zoom等のオンラインコミュニケーションツールの急速な普及
- 新車ディーラー・中古車販売店において、ユーザーとのオンラインコミュニケーションを希望する顧客が増加



ユーザーと顧客の双方から、オンラインコミュニケーションニーズが発生

# 中古車領域の取組み

- ・ MOTOR GATEカレンダーに「オンライン商談予約」機能を2020年4月27日リリース（LINE、Skype、Google Hangouts Meet、FaceTime、Zoom等に対応）
- ・ MOTOR GATE取引社数の維持に努め、MOTOR GATEカレンダーの導入社数拡大を推進



## ◆インターネット「オンライン商談予約」機能の主な特長

1. 外出自粛期間でも家にいながら、パソコン・スマホで気になるクルマの確認ができます
2. 「オンライン商談予約」機能を来店予約・試乗予約に追加し、非対面での商談ができる販売店に商談日時の予約依頼ができるように改良
3. ユーザーと販売店は使用するアプリを事前に決定し、予約日時にビデオ通話で交信

WORRIES

クルマ選び、こんなお悩みはありませんか？



外に出ることができない状況だが  
クルマ購入の検討をしたい



おうちでくつろぎながら  
スマートに商談をしたい



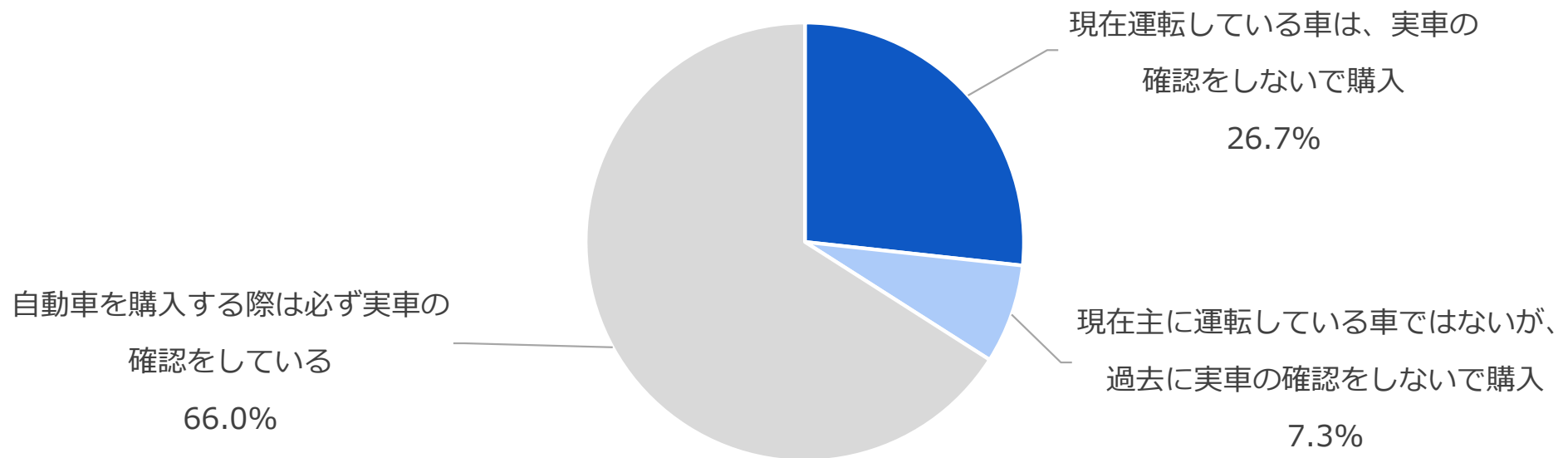
確認したいことをオンラインで済ませて  
現地で掛かる時間を少なくしたい

プラットフォームにオンライン商談機能を実装し、既存顧客を支援する

# 参考：中古車ユーザーの購買行動

## ■ 現状の中古車ユーザーの購買行動 (CAR USER REPORT 2020より抜粋)

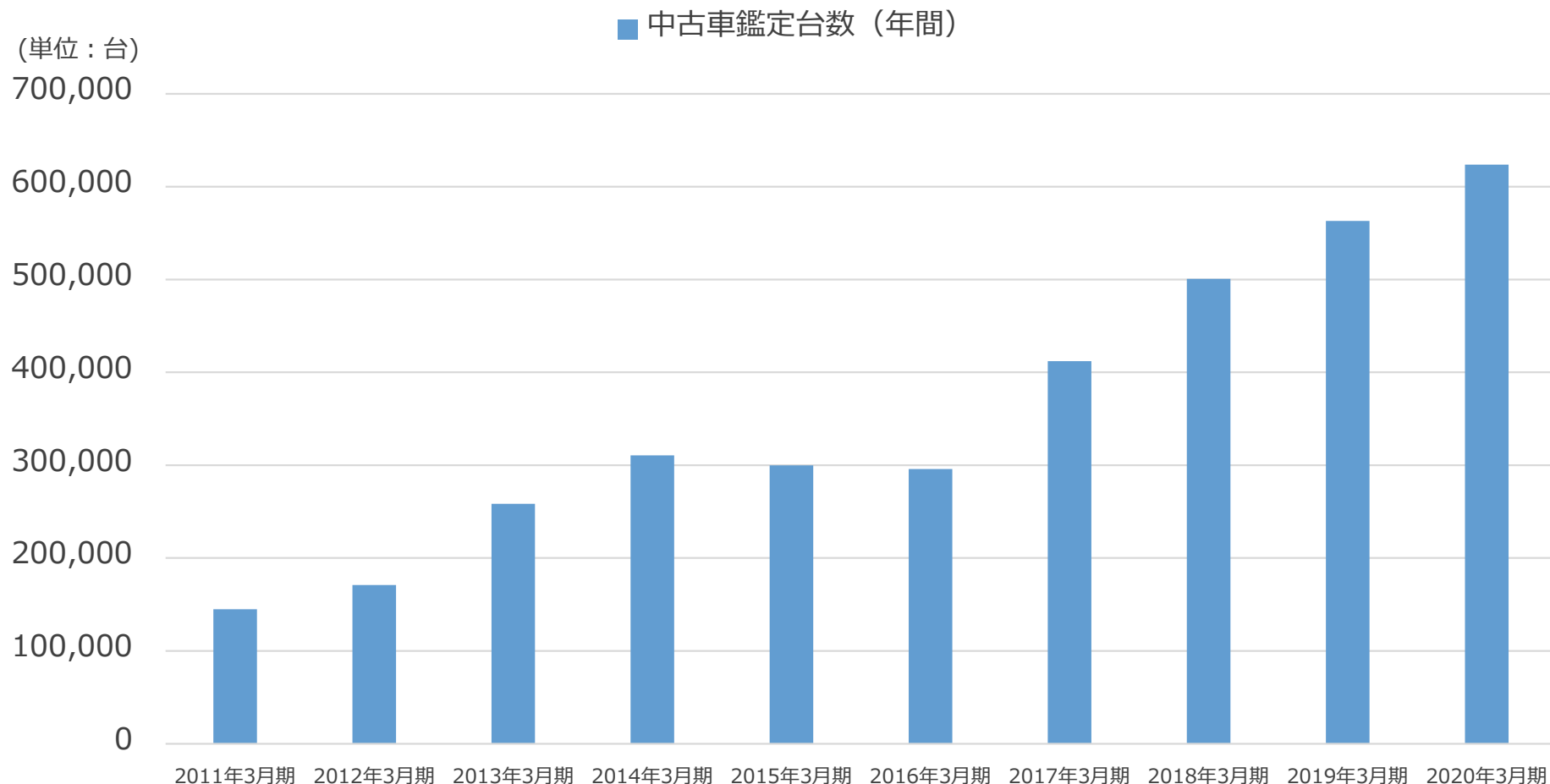
中古車ユーザーの実車確認比率（2019年12月）



現状、実車の確認をしないで購入する中古車ユーザーは全体の約1/3

# 参考：中古車鑑定台数の推移（グー鑑定）

## ■ 当社グループにおける中古車鑑定台数の年次推移



過去10年間で約4倍に伸び、中古車購入の意思決定をサポート。  
結果、実車確認をしない中古車ユーザーが増加

# 新車領域・整備領域の取組み

## ■ 新車領域

- ・ AIチャットボットにオンライン商談予約機能を実装（2020年5月リリース予定）
- ・ AIチャットボットの導入拠点拡大
- ・ 新車ディーラー（既存顧客）へのアップセル営業の推進

## AI チャットボット

新車ディーラーのWEBサイトに実装し、来店予約や下取車の簡易査定を実現

- 商談(販売/下取)の生産性向上に寄与
- 営業時間外の顧客対応、集客に寄与
- オンライン商談予約機能を実装 (New)



## ■ 整備領域

- ・ グーネットピットサイトへのAIチャットボット導入の推進（予約サービスへの導線の改善）

AIチャットボットの導入拡大、オンライン商談予約機能を実装

# AI商品開発を推進

## ■ 主要なAI商品開発

- ・ 顧客の在庫回転率向上に資するAI商品の開発
- ・ 顧客の在庫最適化に資するAI商品の開発
- ・ 顧客の在庫登録プロセスの省力化に資するAI商品の開発

※MOTORGATE AI「明日売れるクルマ予測」  
(在庫車両に付加すべき情報を提示、シミュレーション機能)

MOTORGATE AI  
プリウス あー  
本体価格 365万円 在庫価格 375万円 年式 2019年 走行距離 10,000km

シミュレーター

現在 在庫POINT	AI販売店定 PRICE	AI販売店定 POINT
47	47	69

下の設定を変更してください

物件情報を変更する

閉じる

ブランド名 トヨタ  
車種名 プリウス  
型式名 ZVW30  
グレード名 G

HDDナビ Bカメラ バックカメラ スマートキー HID ETC  
純正HDDナビ ワンオーナーフルセグTV フルセグHDDナビ ナビ クルーズコントロール フルセグHDDナビ  
純正SDナビ Bモニター TV DVD再生  
SDナビ レーダークルーズ  
バックモニター 禁煙車 クルコン AW純正ナビ サンルーフ 純正アルミ  
HDDナビ DVDナビ TV ワンオーナーフルセグTV フルセグHDDナビ ナビ クルーズコントロール フルセグHDDナビ  
純正HDDナビ ワンオーナーフルセグTV フルセグHDDナビ ナビ クルーズコントロール フルセグHDDナビ  
純正SDナビ Bモニター TV DVD再生  
SDナビ レーダークルーズ  
バックモニター 禁煙車 クルコン AW純正ナビ サンルーフ 純正アルミ

プラットフォームに実装するAI領域の商品開発を推進



# 十分な手元流動性の確保、コストコントロールの徹底

## ■ 手元流動性の確保

- ・ 現金同等物180億円に加え、当座貸越契約により30億円の融資枠を確保（2020年5月契約締結）
- ・ 経済状況の悪化に備え、持続的な企業活動の継続に向けた体制を整備

## ■ 適切なコストコントロールの推進

- ・ ユーザー動向に合わせた適切なプロモーションの実施（広告宣伝費）
- ・ 中期3ヶ年計画を前倒して推進（製造原価・販管費）

十分な手元流動性を確保、適切なコストコントロールの推進

## ■業績予想

新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束の時期や感染拡大による影響が見通せないため、先行きは不透明感の強い状況にあります。

2020年4月16日に発令された全国を対象とした緊急事態宣言に伴い、当社グループの属する自動車関連業界に与える影響度やその期間を見通すことが難しい状況であり、当社の業績予想につきましても合理的な見積もりが困難であるため、次期（2021年3月期）の連結業績予想を未定といたします。

なお、合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

# 株主還元

## ■ 株主還元方針

継続的かつ安定的な配当に留意するとともに、将来の成長に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案したうえで利益還元に努めます。

内部留保資金につきましては、経営基盤の一層の強化ならびに事業規模の拡大を図るため、既存事業ならびに新規事業への投資資金として有効に活用してまいります。

## ■ 1株当たりの配当金の状況

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (計画)	2022年3月期 (計画)
第2四半期末	12円50銭	13円75銭 (内記念配当1円25銭)	12円50銭	未定
期末	12円50銭	13円75銭 (内記念配当1円25銭)	12円50銭	未定
年間	25円00銭	27円50銭 (内記念配当2円50銭)	25円00銭	未定

※ 2019年3月期実績は、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

# Appendix

---

# ビジョン「企業目標」

## お客様の満足

有益な情報とサービス

## 社員の誇り

会社と仕事



## 株主からの信頼

将来と実績

変化と革新で新しい社会をつくることで、「お客様の満足（有益な情報とサービス）」と「社員の誇り（会社と仕事）」、そして「株主からの信頼（将来と実績）」を得る

# 中長期的な成長戦略

## ■ 重点項目

- ・ 新車領域：データベースを活用したサービスを利益創出の柱にする
- ・ 中古車領域：製造原価・販管費の見直し（紙媒体・拠点の見直し）
- ・ 整備領域：① 広告事業の事業基盤拡大  
② 予約サービスの構築
- ・ AI領域への投資（既存事業の底上げ）
- ・ 新規事業への投資（新規サービスの創出）



成長市場へ経営資源を投入し、中長期的な企業価値の向上を図る

# 中期3ヶ年事業計画（経営指標）

## ■ 重要な経営指標について

売上総利益・営業利益の成長とともに、ROE・EPSを重要な経営指標と位置付けています。

## ■ 経営指標

	2016年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
ROE	▲1.5%	11.7%	12.0%以上
EPS (1株当たり当期純利益)	▲9.64円	78.75円	100.00円
売上総利益※	212億円	238億円	CAGR (年平均成長率) 6.4%
営業利益	40.7億円	45.6億円	CAGR (年平均成長率) 9.4%

※ 将来的な「収益認識に関する会計基準」の適用を見込み、重要な経営指標について従来の売上高から売上総利益に変更しております。

※ EPS(1株当たり当期純利益)については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

中期3ヶ年計画において、ROE12%以上の達成を目指す

# 会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション		
創業	1977年10月1日		
設立	1979年6月1日		
資本金	1,849百万円（2020年3月31日現在）		
発行済株式総数	41,925,300株（2020年3月31日現在）		
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号		
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本 (全国53拠点)		
事業年度末	3月31日		
社員数	連結：1,456名（2020年3月31日現在） 単体：577名（2020年3月31日現在）		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		
連結子会社	1.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	2.株式会社タイヤワールド館ベスト	【2015年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	3.株式会社グーネットエクスチェンジ(旧キングスオート)	【2012年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	4.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	6.株式会社カーブリックス	【2017年 5月設立】	(議決権所有割合：間接 66%)
	7.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	8.株式会社丸富士	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	9.株式会社シルバーはあと	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	10.株式会社プロトソリューション	【2007年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	11.株式会社沖縄コールスタッフサービス	【2017年10月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	12.株式会社プロトベンチャーズ	【2019年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	13.株式会社アソシエ	【2019年10月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	14.CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.	【2018年12月設立】	(議決権所有割合：間接 49%)
	15.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. (清算手続き中)	【2011年 9月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	(2020年4月30日現在)		



# 会社概要

## 連結主要データ

発行済株式総数(百万株)	※2020年3月末	41.9
時価総額(億円)	※2020年3月末	359.2
1株当たり年間配当(円)	※2021年3月期予想	25.0
1株当たり当期純利益(円)	※2020年3月期実績	124.33
1株当たり純資産(円)	※2020年3月期実績	794.38
ROE(%)当期純利益ベース	※2020年3月期実績	16.7
ROA(%)経常利益ベース	※2020年3月期実績	12.1
自己資本比率(%)	※2020年3月期実績	71.3
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2020年3月末	28.96

## 大株主(上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	13,614 (32.47%)
2) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,823 (6.73%)
3) JPLLC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT	2,670 (6.36%)
4) 株式会社プロトコーポレーション	1,763 (4.20%)
5) JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,137 (2.71%)
6) BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,094 (2.61%)
7) CLEARSTREAM BANKING S.A	1,024 (2.44%)
8) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	930 (2.21%)
9) 横山博一	887 (2.11%)
10) 横山順弘	730 (1.74%)

※ DPS, EPS, BPSについては、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割(1:2)の影響を考慮しております。

(2020年3月31日現在)

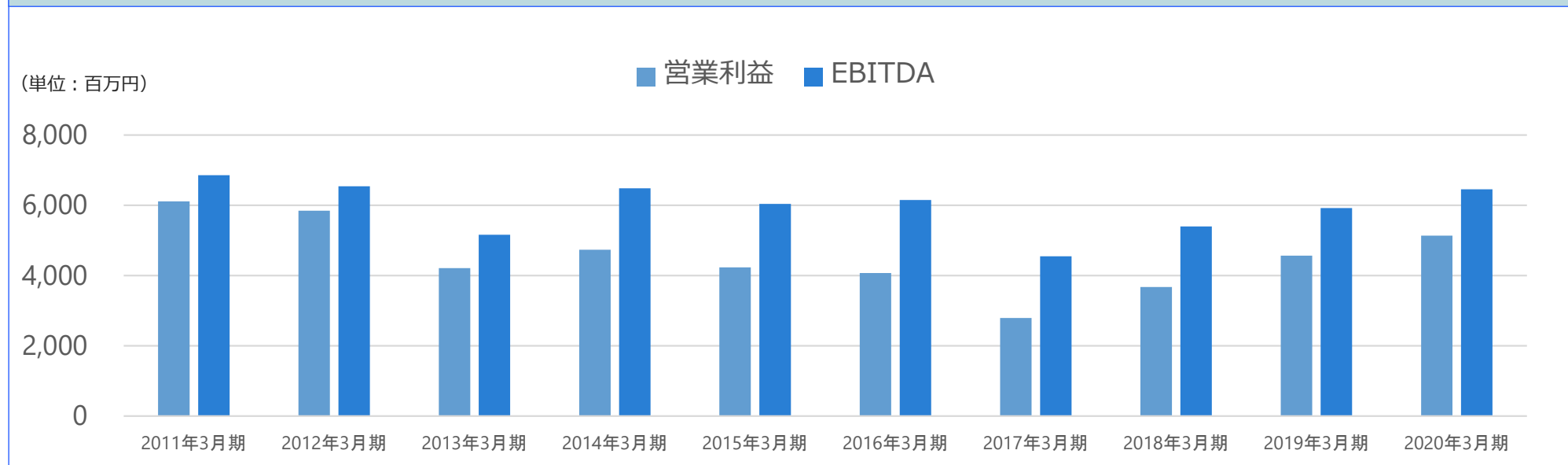
# 連結業績実績（10年推移）

(単位：百万円)	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251	59,127
営業利益	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565	5,136
当期純利益	3,197	3,275	2,290	2,627	2,381	▲ 390	1,506	519	3,159	4,991
EBITDA * 1	6,856	6,540	5,161	6,483	6,039	6,149	4,547	5,396	5,920	6,455
調整後当期純利益 * 2	3,620	3,680	2,836	3,555	3,308	641	2,145	1,151	3,596	5,420
減価償却費	322	288	404	819	879	1,046	1,113	1,089	916	890
のれん償却額	422	405	546	928	926	1,032	638	632	437	429

\*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

\*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

## 営業利益・EBITDAの年次推移



# 連結業績 セグメント別（10年推移）

セグメント別売上高 (単位：百万円)	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自動車関連情報	25,566	26,704	33,687	50,138	44,056	49,486	51,025	56,100	56,167	52,870
広告関連	20,558	20,579	21,163	21,412	21,593	21,006	21,231	21,618	21,278	21,485
情報・サービス	3,083	3,312	3,749	4,464	4,546	5,087	4,893	5,053	5,041	5,557
物品販売	1,923	2,813	8,774	24,262	17,915	23,392	24,899	29,429	29,847	25,827
生活関連情報	2,616	3,470	3,837	3,541	3,393	3,466	4,236	4,370	4,335	4,168
不動産	181	166	163	167	164	162	187	213	195	160
その他	415	240	597	913	988	1,182	1,268	1,426	1,553	1,928
合計	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251	59,127

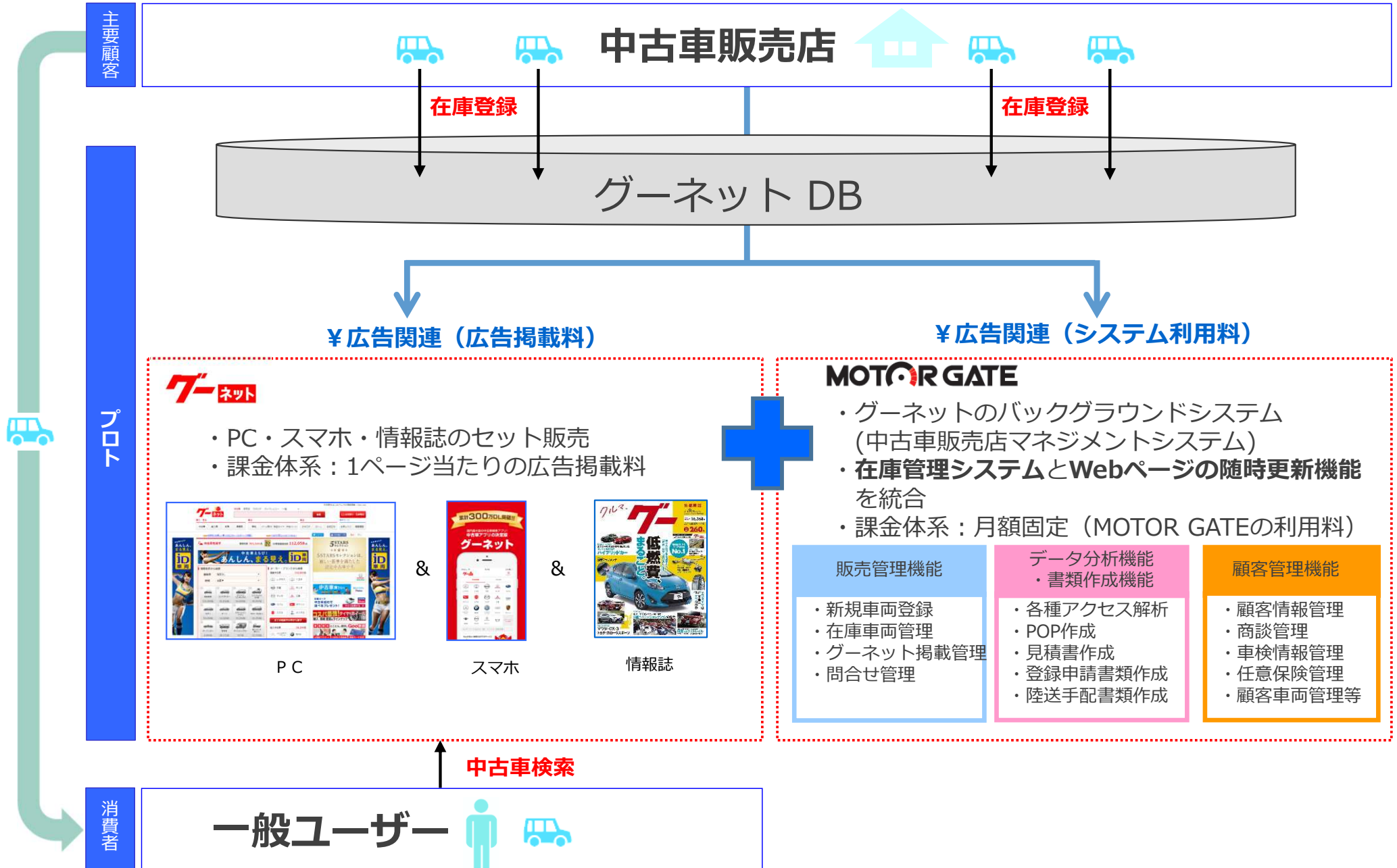
セグメント別営業利益 (単位：百万円)	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自動車関連情報	7,281	7,272	5,916	6,217	5,624	5,277	3,939	4,933	5,758	6,582
生活関連情報	301	228	131	248	338	307	478	370	249	169
不動産	104	83	85	69	96	109	147	170	193	135
その他	▲91	▲149	▲323	▲140	▲94	▲66	▲136	▲71	57	58
管理部門	▲1,484	▲1,589	▲1,599	▲1,659	▲1,732	▲1,554	▲1,633	▲1,728	▲1,693	▲1,809
合計	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565	5,136

# セグメント詳細

## セグメント詳細

セグメント詳細	
<p>■ <b>自動車関連情報</b></p> <p>■ <b>広告関連</b>    </p> <p><b>中古車</b> グーネット等のデータ登録料（MOTOR GATE利用料,グー買取等）</p> <p><b>中古車</b> 広告掲載料（WEB・情報誌等）、情報誌本売上</p> <p><b>整備</b> グーピットへのデータ登録料</p> <p>■ <b>情報・サービス</b>   </p> <p><b>新車</b> プロトコーポレーション（DataLine SalesGuide、DataLine等）</p> <p><b>中古車</b> プロトコーポレーション（グー鑑定、グー保証）</p> <p><b>整備</b> プロトリオス（整備・钣金システム販売）</p> <p>■ <b>物品販売</b>  </p> <p>オートウェイ・タイヤワールド館ベスト（EC:タイヤ・ホイール） グーネットエクスチェンジ「旧:キングスオート」（中古車輸出） プロトコーポレーション（EC:物品販売）</p>	<p>■ <b>広告関連</b></p> <p>主にMOTOR GATE月額利用料とグーネットによる広告収入が占める。</p> <p>■ <b>情報・サービス</b></p> <p>主に新車ディーラー向けのDataLine月額利用料、整備钣金システム売上が占める。</p> <p>■ <b>物品販売</b></p> <p>主にタイヤ・ホイールのEC販売、中古車輸出が占める。</p>
<p>■ <b>生活関連情報</b>   </p> <p>プロトメディカルケア（広告売上・福祉用具レンタル売上等） プロトコーポレーション（カルチャー情報等）</p>	<p>主に介護・福祉関連の広告収入と福祉用具レンタル売上が占める</p>
<p>■ <b>不動産</b> プロトコーポレーション（不動産賃貸収入）</p>	<p>主に自社ビルの非稼働フロアの賃貸収入が占める</p>
<p>■ <b>その他</b> プロトソリューション（BPO事業、ソフトウェア開発等） 沖縄コールスタッフサービス、アソシエ（人材派遣等） オートウェイ（太陽光発電） プロトコーポレーション（農業事業） プロトベンチャーズ（投資事業）</p>	<p>主にBPO事業の売上が占める</p>

# 中古車領域：グーネット・MOTOR GATEのビジネスモデル



# 中古車領域：グー鑑定ビジネスモデル

主要顧客



中古車販売店



↓  
¥ 鑑定料

- ・ 課金体系：1台あたり課金
- ・ 2008年10月より全国展開開始



## グー鑑定の概要と図解（一例）



## グー鑑定 3つのポイント

- ① 第三者機関の日本自動車鑑定協会（JAAA）の基準に基づき中古車を鑑定
- ② 外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を実施
- ③ 鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定め、情報を開示



プロト（検査子会社）カクレレド

↑ 中古車検索

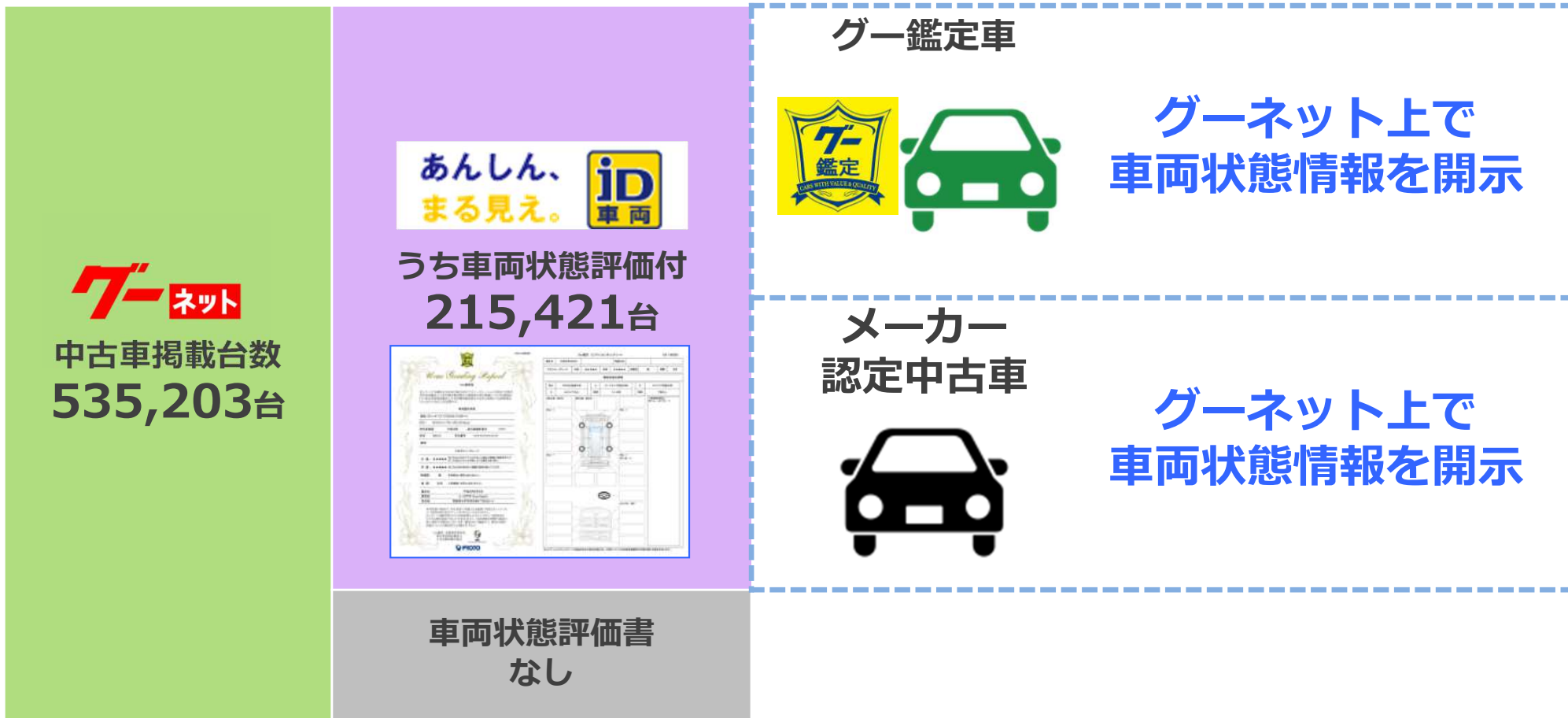
消費者

一般ユーザー



# 中古車領域：中古車の車両状態情報の開示

## ■ 競合メディアとの差別化：車両状態情報開示を通じた成約率の向上



※参考 競合メディアの車両状態情報開示 60,028台

(2020年4月28日 時点)

ユーザーが抱く中古車への不安を払拭し  
より安心して中古車を購入できる環境をつくる



# 新車領域 : DataLine SalesGuide

主要顧客



新車ディーラー



¥サービス利用料

## DataLine SalesGuide

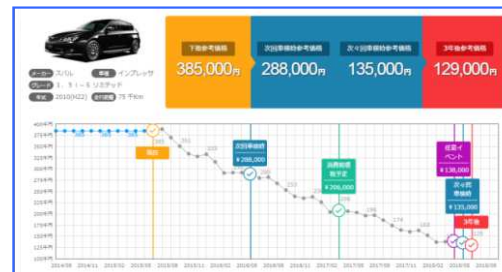
- ・課金体系：月額固定
- ・ユーザーとの商談の際に現在価値と将来価値の概算を提示し、乗換促進を実現する



### コスト比較提案機能



### 将来価格予測グラフ機能



### 乗り換えPOP機能



### 乗り換えシミュレーション機能



プロト

消費者

自動車ユーザー





---

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

◆将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

◆本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経営企画室 高林

Tel : 052-934-1519

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp